



8月の暑い日より、7月の急な暑さの方が、熱中症患者が急増し、重症となるケースが多いです。体が暑さに慣れていない子どもは熱中症になりやすく特に注意が必要です。暑い時間帯や、警報が出ている時は、無理に外出せず、クーラーを有効活用し、こまめな水分補給を心がけましょう。

ほけんの予定

7月17日(木) 0.1歳児発育測定
7月18日(金) 2~5歳児発育測定

6月の感染症報告

アデノウイルス感染症
百日咳

熱中症の対処法



こんな症状が出たら医療機関へ

唇が乾いている
尿の量が少ない
顔色が悪く呼びかけに応えない
体温が40℃を超えている
けいれんを起こしている



迷ったら相談

18:00 ~
翌朝 8:00

小児救急医療電話相談

8 0 0 0

または
025-288-2525



夏に多い むしさされの肌トラブル

子どもの虫刺されは、大人より症状がひどく長引きやすいのが特徴です。蚊に刺されることを繰り返すと次第に免疫ができて体が慣れるため、小さい子ども程、強い反応が出やすいです。

① おうちでのケア

1. 流水で蚊にさされた部位をよく流す
2. 刺された部位を保冷剤などでよく冷やす
3. かゆみ止めの薬や軟膏を塗る
(園では、ムヒベビーを使用しています
使用できない方は、お知らせください)

さされた部位は清潔に

- 汗をこまめに拭いたり、流したりしましょう。
汗は、虫刺されの悪化の原因になります。
- 爪は短く整えましょう。
かきこわし、とびひの原因になります。

② 受診するめやす

- ・水ぶくれ(水泡)、腫れ、ほてりが強い
- ・痛みが強い時
- ・かきこわし、ただれが強い
- ・市販薬を使用してもよくなりません
- ★アレルギー体質で、虫刺されで強く反応が出る場合は、悪化する前に早めに受診し、お薬をもらっておきましょう



③ 園からのお願い

- 虫よけ剤は、お預かりできません。
登園前に虫よけ剤を使用しましょう。
 - ・アレルギーなどがあり、**医師からの特別な指示**がある場合は、保育士にお知らせください。
 - ・日焼け止めや、保湿剤を使用している場合は、その上から塗りましょう。
 - ・主成分にディートが含まれる場合は、6か月未満には使用できません。
- ユーカリ剤などの**予防剤の含まれるリング**や**虫よけシール**、**ムヒパッチ等のかゆみ止めテープ(保護者の管理のもと使用する医薬品)**は、つけてこないでください。



悪化すると、とびひになりやすくなります

「とびひ」は、虫刺されや、湿疹をかきむしった後に、細菌が感染して起こります。感染力が強く、飛び火のように広がることから、「とびひ」とわれています。

- ・傷がなかなか治らず、赤い発疹が増えている。
 - ・水ぶくれが悪化している。
 - ・傷口がジュクジュクしてきた。
- このような症状がみられたら、受診しましょう。**